

日本経済：全国消費者物価（2024 年 8 月）

コアは小幅に伸び拡大、一般サービスの価格上昇も確認

8 月の消費者物価は、総合で前年同月比+3.0%、生鮮食品を除く総合（コア）で+2.8%、生鮮食品とエネルギーを除く総合（コアコア）で+2.0%と、いずれも前月から小幅に伸びを高めた。生鮮食品を除く財では電気・都市ガス・水道が上昇幅拡大に寄与した。一般サービスも、+2.0%と 7 月から伸びが拡大。複数の品目の小幅なプラス寄与拡大が全体を押し上げた。賃金のサービス価格への転嫁が徐々に進捗している可能性が示唆される。

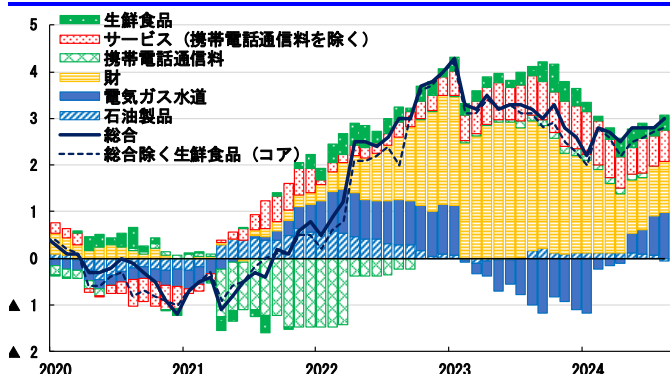
コアとコアコアは小幅に伸びを拡大

2024 年 8 月の消費者物価指数（全国）は、総合で前年同月比+3.0%と、7 月（+2.8%）から上昇幅が小幅に拡大。生鮮食品を除く総合（コア）、生鮮食品及びエネルギーを除く総合（コアコア）もそれぞれ+2.8%、+2.0%と、7 月の+2.7%、+1.9%から小幅に伸びを高めた（下左図）。

コアで除かれる生鮮食品は前年比+7.8%と、7 月の+4.2%から上昇率が大きく拡大、総合を 0.3%pt 押し上げた。また年初来前年比プラスで推移しているうるち米は、前年比+29.9%（コシヒカリを除くベース）と、7 月の+18.1%から一段と伸びを高めた。うるち米については、今後新米の出荷が進み不足感が解消するにつれ、価格上昇も一服することが見込まれる。

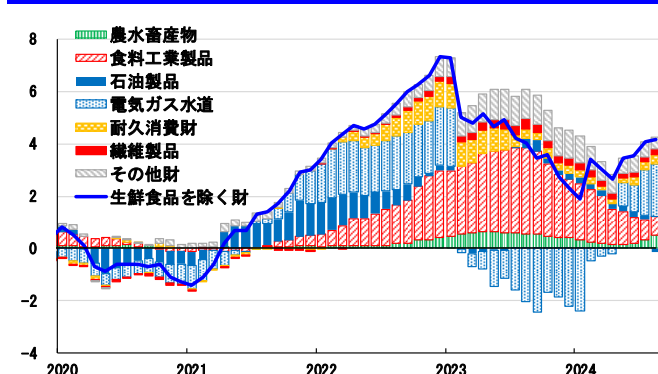
コアの前年同月比を財・サービス別にみると、財（下右図）は、8 月に+4.2%と 7 月（+4.0%）から伸びを高めた。食料工業製品のプラス寄与が縮小傾向にある一方、電気・都市ガス・水道が寄与を拡大させている。電気・ガス代補助金が 5 月に一旦終了したことにより前年比大幅なプラスが継続していることに加え、前年 8 月に電気料金が値下がりしていたことの裏が出る形で、前年同期比のプラス幅が拡大。ただし、8 月から 10 月使用分について補助金が再導入されることから、それらが反映される 9 月から 11 月の指数ではプラス幅が縮小する見込み。

消費者物価の推移（前年同月比、%）



(出所)総務省「消費者物価指数」

財（前年同月比、%）



(出所)総務省

サービスは、全体では前年比+1.4%と前月から横ばいとなったが、うち「一般サービス」(右図)は、+2.0%と7月(+1.8%)から伸びが拡大。宿泊料、外国パック旅行、家事関連サービス、外食など複数の品目でプラス寄与が小幅に拡大。賃金のサービス価格への転嫁が徐々に進捗している可能性が示唆される。なお、サービス分野のうち「公共サービス」は、8月は前年比▲0.1%で、7月からマイナス寄与が小幅に拡大した。

